

企業リスクを評価できるサブスクサービス「i-CRAS2」が 英語版リリースでグローバル企業にも対応 ～100社限定無償トライアルのサービス提供キャンペーン実施～

株式会社ドキュメントハウス(本社:東京都八王子市、代表:本間 俊明)は、企業リスク評価サービス「i-CRAS2(アイクラス2)」の英語版をリリースいたしました。今回のリリースでは評価者がリスク確認をする際に設問が表示される評価画面を、英語にローカライズいたしました。

今回の英語版のリリースにより、海外に支社などを展開するグローバル企業や、外国人の従業員を抱える企業が、企業に潜在するリスクを網羅的に洗い出すことが可能になりました。また、それにより、海外支社と日本支社のリスクを別々に評価することもでき、潜在するリスクの保有状況を比較したり、リスク認識の違いが把握できるので、それぞれに対応した教育やリスク対策をとることも可能になりました。



「i-CRAS2」の英語と日本語の切り替えは、特別な設定などを行う必要はなく、評価画面の右上にある言語選択で簡単に行うことができます。

※英語表示への対応は評価画面のみで、管理者画面やレポートは日本語のみとなります。

【日本語の評価画面】

i-CRAS2 日本語 HOME

設問 01A0001 外部要因 - 非財務リスク 1/123 関連するリスク等のメモ欄としてご使用ください。

業界の特性、競合他社の状況

市場の寡占化(少数の売り手・企業により市場が支配される構造のこと)、競争の加速、新しい業態の台頭、および外資参入や業界再編(M&A)などの競合他社の動向によって、会社戦略に変更や悪影響が生じること。

以下から、影響度を選択してください。

<input type="radio"/> ごくわずか	: 1000万円未満
<input type="radio"/> わずか	: 1000万円以上、1億円未満
<input type="radio"/> 小さい	: 1億円以上、5億円未満
<input type="radio"/> 大きい	: 5億円以上、10億円未満
<input type="radio"/> 非常に大きい	: 10億円以上、50億円未満
<input type="radio"/> 破滅的	: 50億円以上

以下から、発生頻度を選択してください。

<input type="radio"/> 定期的	: 月に1度程度
<input type="radio"/> しばしば	: 数ヶ月に1度位～年に1度程度
<input type="radio"/> 多くはない	: 数年に1度位～5年に1度程度
<input type="radio"/> まれな	: 5年以上に1度位～25年に1度程度
<input type="radio"/> 非常にまれな	: 25年以上に1度位～100年に1度程度
<input type="radio"/> 予期できない	: それ以上の長い期間に1度程度

【英語の評価画面】

i-CRAS2
English ▾ HOME ▾

Question 01A0001 External factors - Non-financial risk 1/123

Industry characteristics, competitive landscape

Changes or adverse effects on company strategy due to market oligopolization (a structure in which a market is dominated by a small number of sellers or companies), accelerated competition, the emergence of new business categories, and the actions of competitors, such as the entry of foreign capital or industry restructuring (M&A).

Select the impact level from the following.

- Negligible : Less than 10 million yen
- Very little : More than 10 million yen, less than 100 million yen
- Little : More than 100 million yen, less than 500 million yen
- Large : More than 500 million yen, less than 1 billion yen
- Very large : More than 1 billion yen, less than 5 billion yen
- Catastrophic : More than 5 billion yen

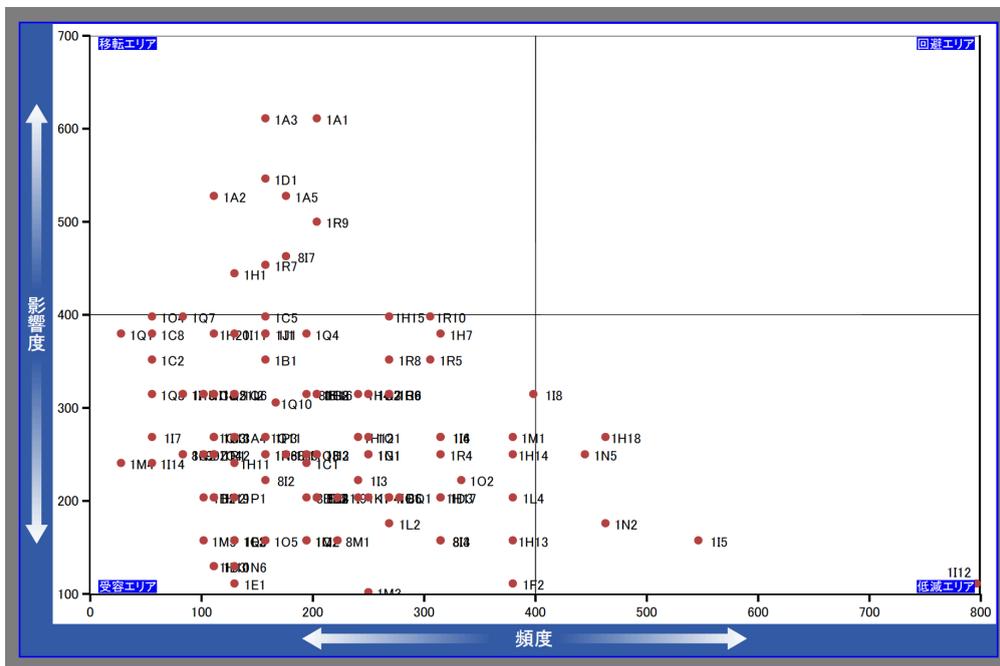
Select occurrence frequency from the following.

- Periodic : About once a month
- Often : Once a few months to once a year
- Not often : About once every few years to once every 5 years
- Rare : About once every 5 years or more to once every 25 years
- Very rare : About once every 25 years or more to once every 100 years
- Unforeseen : About once in a longer period of time than others

Please use this as a memo field for related risks, etc.

また評価をすると管理者は以下のようなレポートを見ることが可能です。レポートには「リスクマップ」と「ワーストリスクと対応指針」の二つがあります。「リスクマップ」は、横軸に頻度評価点、縦軸に影響度評価点として座標にプロットしたもので、プロットされた分布状況から全体的なリスク傾向を捉えることができます。また「ワーストリスクと対応指針」は評価で総合ワースト10（または20/30）にランクインしたリスクと、その対応指針を表示したものととなります。

【リスクマップ】



【ワーストリスクと対応指針】

コード	リスク項目	総合評価点	想定期間	想定損害額	内容	
1	I1I2 事務ミス・作業点検ミス	454	2.8ヶ月	5.5千万円	評価内容	平時の事務処理ミスが目立ち、一般業務に支障を与えること。
					対応指針	一つ一つのミスは小さくても積み重ねられれば大きな損害、お客様への苦情や会社のブランド毀損に陥る。工程管理を強化し、ミスの起こりにくい土壌を醸成する。
2	1A1 業界の特性、競合他社の状況	408	21.6年	16.8億円	評価内容	市場の寡占化(少数の売り手・企業により市場が支配される構造のこと)、競争の加速、新しい業態の台頭、および外資参入や業界再編(M&A)などの競合他社の動向によって、会社戦略に変更や悪影響が生じること。
					対応指針	市場の動向をモニタリングし、必要に応じて事業への再投資、売却、取引先との連携、再編などの経営判断を行う。
3	1A3 経済環境の悪化	384	37.7年	16.8億円	評価内容	少子化、消費低迷、失業率の増加、超高齢化社会の到来、国際情勢の悪化、為替の急激な変動、エコノミクス・スタートアップ、セキュリティリアランスなど、経済状況の悪化・変容により、会社の戦略や売上に悪影響が出る。*エコノミクス・スタートアップ:政治目的の達成のため、軍事的手段ではなく経済的手段によって他国に影響力を行使すること *セキュリティリアランス:機密情報へアクセスする適格性を確認する制度
					対応指針	経済環境の変化に伴い社内の組織構造を変換させる必要があるかどうか、受容できるリスクとして無視できるか、一旦取り込み、後日再検討を行うべきかを含めて大所高所から検討を行う。
4	1H18 人的リソースに関するリスク	366	3年	3億円	評価内容	人員計画が不明瞭で人手不足や過剰人員の問題が発生すること。
					対応指針	大きな権限を持つ者が人員計画に圧力をかけ、部署間で偏重的な人員配置となっていることがある。人員計画は公正かつ適切に行われなければならない。
5	1I8 お客様クレーム管理の不備	357	4.3年	4.3億円	評価内容	お客様からのクレームへの対応管理が甘く、是正・再発防止に向けた対応が遅いこと。
					対応指針	お客様の苦情等をお聞きするCS部署は社長室など経営に近い場所に設置し、製品・サービスの欠陥、苦情、提言などあらゆる情報について適宜取締役会で把握できるようにしておく。
6	1A5 経営破たん	352	37.7年	9.1億円	評価内容	外的環境の劇的な変化に経営陣が対応できないなど、自社の経営が破たんすること。事実上の倒産、または、裁判所に会社更生法の適用申請、会社法による会社整理の適用申請、民事再生法の手続開始の申請、破産申請、特別清算の開始の申請を行うこと。
					対応指針	この事態に対応するには、財務分析等を常に行うとともに、外的環境の劇的な変化に速やかに対応する臨機応変な危機管理能力が不可欠である。社内外の変化に柔軟に対応するには常にアンテナを張り情報収集することが重要であり、多くの情報媒体を通じて定期的に情報をアップデートすることが望ましい。

開発の背景

「i-CRAS2」を昨年5月にリリースしたところ、いくつかのグローバル展開する企業や、外国人の従業員を雇用する企業様から、「会社のリスクをより網羅的に知るために、英語にも対応してほしい」という声をいただき、開発に至りました。会社のリスク評価を行うにあたり、限定されたリスク情報では、予測できない問題が生じ、対策が遅れが発生する可能性がございます。そのため、現在グローバル展開などを行っている企業様で、日本支社のみでのリスク評価しか行っていない企業様にはぜひこの機会にご利用いただきたいです。

本リリースに伴うキャンペーン

英語版のリリースに伴い「i-CRAS2」の無償トライアルを100社限定でサービス提供いたします（※先着順で対応させていただきますが、ご依頼頂く時期によっては、お待ち頂く場合がありますことをご了承ください）。今回のトライアルでは、評価者の体験を行うことができます。1企業最大3人まで評価者の体験をすることができ、アンケート形式のテンプレートに沿ってリスクの評価をしていただけます。また、その評価をもとに生成されるレポートをご提供いたします。本キャンペーンは以下のフォーム、またQRコードからお申し込みいただけます。

<https://forms.gle/H4MsEz9y1Am55E719>



【代表メッセージ(本間俊明)】

従来までのi-CRASでは、危機発生時の影響度を数値で表していましたが、今回のi-CRAS2では影響度を推定損害額で表すようにしましたので、より直感的に影響度を捉えて頂けるかと思います。また、既にi-CRAS2をご活用されている企業様のご要望に応え、独自に追加できるリスク項目数も30項目まで追加できるようにアップデートさせて頂きましたので、実際のリスク項目設定時(※無償トライアルではリスク項目が固定になります)には、業種別の雛形リスクテンプレートと合わせてこの追加機能をご利用頂けます。リスク評価は、潜在するリスクに対しリスク対策を検討する上で不可欠かと思いますが、リスクリテラシーの維持・向上においても極めて有効かと思っておりますので、この機会に一度お試し頂ければ幸いです。

【「i-CRAS2」とは】

サブスクリプション形式で自己評価型の企業リスク評価サービス「i-CRAS2(アイクラス2)」は、18業種別に準備されたリスクテンプレートに沿って評価を実施することで、リスクによる危機発生時の損害額の推定や、リスクマップによる潜在リスクの可視化を実現します。また利用企業の実評価データから算出される市場平均や業種平均とリアルタイムで比較することで、自社リスクの保有状況と脆弱性の可視化も実現いたします。さらに顕在化した個々のリスクには、専門家によるアドバイス情報が提供され、リスクコントロールの指針として参考にして頂けます。

「i-CRAS2」のサービス詳細はこちら

<https://www.dhouse.co.jp/icras/>

【株式会社ドキュメントハウス 概要】

社名:株式会社ドキュメントハウス

本社所在地:東京都八王子市めじろ台3-15-1

代表取締役:本間俊明

事業内容:企業リスク評価や製品リスク評価、マニュアル品質評価、家電製品・産業機械・医療機器の分野の各種マニュアル・技術文書類の制作および多言語翻訳ほか

設立:1989年6月

HP:<https://www.dhouse.co.jp/>